

教科・「科目」	国語・「国語総合」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		2	座学	1	全学科必修修科目

1. 目標と評価規準

目標	国語を適切に理解し言語能力を高めるために、話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの指導を中心に学習します。古文や漢文なども含め総合的な国語の学習を行います。		
評価の観点と比重	評価規準		評価の方法
関心・意欲・態度 (20%程度)	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしているか。		観察 提出物等
話す・聞く (15%程度)	目的や場面に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめることができるか。		定期考査 学習状況等
書く (15%程度)	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めることができるか。		定期考査 学習状況等
読む (25%程度)	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させることができるか。		定期考査 学習状況等
知識・理解 (25%程度)	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけているか。		定期考査 学習状況等
使用教科書	教科書：東京書籍『新編 国語総合』		

2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	・随想 『海流 ミクロネシア』 ・スピーチする	・南国での見聞から生じた筆者の思いを、取り上げた話題とのつながりを押さえながら読み取ろう。 ・テーマに合わせて適切な内容のスピーチをする。	・本文を電子黒板に提示し、指示語の指示内容や接続語から分かる文章の構成などを教える。本文に関係のある画像なども提示する(A)。 録画により自分の話し方を客観的に反省する。
	5			
	6	・小説 『とんかつ』	・心の触れ合いを描く小説を読み、会話や行動の描写に着目して人物の心情とその変化を読み取ろう。	本文を電子黒板に提示し、登場人物の人格や心情が表現された部分を説明する(B)。
	7	・情報を読み取る	・多様なメディアから、それぞれの特色に注意しながら、情報を的確に読み取る。読み取った情報を多角的に比較してまとめる。	(A)と同じ
2 学期	9	・古文入門 古文に親しむ 宇治拾遺物語『兎のそら寝』	・古文の仮名遣いや古語に慣れ、的確に音読をする。古典の世界に親しみ、現代にも通じる登場人物の言動を理解する。	電子黒板に本文を提示し、一斉に読ませたり、重要な部分などを指摘したりする。絵巻物などの画像も電子黒板で提示する。
	10			
	11	・評論 『無彩色の色』(中村明)	・色について書かれた評論を、具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかもう。	(A)と同じ。
	12	・意見文を書く	・話題についてさまざまな角度から検討し、根拠を明確にして自分の意見を述べる。 ・論理の展開や構成を工夫し、考えを文章にまとめる。	意見文の構成について電子黒板に提示する。
3 学期	1	・漢文入門 訓読の基本 ・格言	・漢文訓読の基礎となる訓点の働きを理解し、訓読ができるようにする。 ・格言を訓読し、意味を捉える。	訓点の説明を電子黒板に提示する。また、返り点の問題や格言を電子黒板に提示する。
	2	・小説 『羅生門』	・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考えよう。	(B)と同じ。
	3			

備考	
----	--